

おかあさん (1952)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 100分
初公開日 1952/06/12

【解説】

1951年に出版された『おかあさん—全国児童綴り方集』を元に水木洋子が脚本を書き、成瀬巳喜男が監督したヒューマンドラマ。数ある成瀬作品の中でも評価の高い一本。戦後ようやくクリーニング屋を再開した福原家。店は父の弟子である木村のおじさんが手伝ってくれていた。しかし長男と父を相次いで亡くしてしまい、母は女手ひとつで店を切り盛りすることになってしまった。やがて次女の久子が嫁に行き、木村も自分の店を持つために出て行った。残されたのは母と長女の年子、それに新しい小僧だった。

【クレジット】

監督	成瀬巳喜男	
製作	永島一郎	
製作補	青山硯	
脚本	水木洋子	
撮影	鈴木博	
美術	加藤雅俊	
編集	笠間秀敏	
音楽	斎藤一郎	
助監督	石井輝男	
出演	田中絹代	福原正子
	香川京子	長女・年子
	三島雅夫	正子の夫・良作
	中北千枝子	正子の妹・栗原則子
	榎並啓子	年子の妹・久子
	片山明彦	年子の兄・進
	岡田英次	Eiji Okada 平井信二郎
	加東大介	木村庄吉
	鳥羽陽之助	良作の弟
	三好栄子	年子のおばさん
	一の宮あつ子	良作の義妹・こよ
	中村是好	信二郎の父・信造
	本間文子	信二郎の母・みの
	沢村貞子	小物屋・おせい
	永井柳太郎	廃品回収人
	伊東隆	則子の息子・哲夫
	小倉繁	客

